

尾張旭市補助金等審査委員会

『個人補助金の見直しに関する中間報告（平成20年11月）』 の概要

（平成20年11月19日
補助金等審査委員会事務局（財政課））

中間報告のポイント

31種類の個人補助金の見直しの方向性、意見等を報告
本市の補助金制度の問題点を指摘
審査過程で得られた議論に基づく「取り組むべき事項」、「今後の補助金のあり方」
を提言

1 中間報告の目的

平成21年度当初予算編成に向け、可能なものから早急に実現されることを期待し、
これまでの審査過程で得られた議論等を報告

2 個人補助金の審査経緯

個人補助金31種類^[1]すべての審査を実施。見直しの方向性と意見等を報告
（審査結果）

拡大	継続	縮減	廃止	終期 ^[2]	切替 ^[3]
0種類	20種類	0種類	11種類	0種類	0種類

1 平成20年度当初予算による。

2 「終期」は、一定の期間経過後に廃止するものを想定

3 「切替」は、他の補助制度への切替、委託料・報償費など他の予算科目への切替等を想定

3 本市の補助金制度の問題点の指摘

統一的に改善が必要な問題点を指摘

当初の目的が希薄化しているもの、「行政評価による対象と意図」と「補助金
交付要綱等で定められている対象と目的」が合っていないもの、政策・施策との
整合性がないものが見られる。

同じような目的の補助金が複数あり、わかりづらい。

当初の目的が既に達成され、交付実績が減少しているにもかかわらず、見直し
が行われていないケースがある。

所得制限を設けている補助金が少ない。

不正受給防止の措置が十分でない。

市民への周知不足により実績が少ないものがあり、補助対象者でありながら補
助を受けられない市民が少なからずいる。

4 取り組むべき事項と今後の補助金のあり方の提言

(1) 取り組むべき事項

問題点の改善のため取り組む必要がある4項目を提言

- ア 補助制度の再点検
- イ 所得制限の導入の検討
- ウ 不正受給防止策の徹底
- エ 広報の充実

(2) 今後の補助金のあり方

補助金制度の見直しにあたり検討すべき3項目を提言

- ア 終期、見直し時期の設定
- イ 所得制限の基準の制定
- ウ 納税状況の確認